

## 会議・打合せ記録

会議録	平成19年度 第4回豊田市公共交通会議
次第	1. 開会 2. 議事 (1) 廃止路線への対応について 下山・豊田線 大沼線 (2) バス運行計画の変更について 小原・豊田線 藤岡・豊田線(西中山経由) 藤岡・豊田線(加納経由) 保見・豊田線 (3) バス停位置の変更について(新盛バス停) (4) 地域バス等(しもやまバス)路線の一部変更について 3. その他 (1) 次回会議の開催時期等について 4. 閉会
日時	平成20年2月14日(木) 10:00~12:00
場所	スカイホール豊田 大会議室
出席者	<b>【委員】</b> 荻野 弘(豊田工業高等専門学校) 藪押 光市(豊田商工会議所) 野田 宏治(豊田工業高等専門学校) 澤田恵美子(豊田市消費者グループ連絡会)(代理:石川) 関 範夫(豊田市社会福祉協議会) 三浦 久芳(名古屋鉄道) 梶原雅一郎(愛知環状鉄道株式会社) 加藤 直樹(名鉄バス株式会社) 堀合 正行(豊栄交通株式会社) 牛田 昌弘(愛知県タクシー協会豊田支部) 木村 幹雄(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)(代理:山本) 佐々木和久(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)(代理:石野) 内藤 洋(国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所)(代理:三治) 石田 裕則(愛知県警察 豊田警察署) 青木 透(愛知県地域振興部交通対策課)(代理:酒井) 青野 六実(愛知県豊田加茂建設事務所) 大山 明夫(愛知県豊田加茂建設事務所足助支所) 吉橋 寿博(豊田市都市整備部) <b>【事務局】</b> 豊田市 都市整備部交通政策課
資料	1. 次第・配席図 2. 資料1 ~ : 豊田市公共交通会議 平成19年度第4回会議資料

【議 事】(要約)

( 1 ) 廃止路線への対応について

事務局 資料に基づき説明

委員 下山・豊田線は、九久平～中垣内を通行しないとのことだが、その間の利用者の利便性が低下してしまうのでは？

事務局 当該区間は、名鉄バス九久平線が運行を継続します。運行本数は減少することになりますが、現状の通学者等の利用状況などに配慮した時刻表を作成するなど、利便性が著しく低下しないよう努めます。

委員 下山・豊田線は、豊田市～九久平は名鉄バスと重複する区間になりますが、その間での定期券や回数券は共通で使用できるようにするのでしょうか？

事務局 定期券について、名鉄バス又はおいでんバスいずれか一方の定期券を持っていれば、どちらのバスも利用可能とするために、現在、名鉄バス(株)と協議しております。回数券について、おいでんバスにはカードシステムが無いため、それぞれのバス限定での利用となります。

委員 誤ってバスに乗ってしまった人は現金しか利用できないため、相互に清算できるようになると良い。

事務局 将来的には、鉄道・名鉄バス・おいでんバス等が、共通で利用可能となるようなＩＣカードが導入できるよう検討しております。当面はシステムの違いをご理解いただきたい。

委員 導入時期はいつごろになりそうですか？

事務局 ２０１０年（平成２２年）を目標にして、検討を進めてまいります。

委員 豊田市～九久平間は、名鉄バス運賃とおいでんバス運賃の２種類存在することになるが、仮に名鉄バスが撤退した場合はどうなりますか？また、２０１０年を目標に、共通乗車が可能なＩＣカードの導入を検討するとのことですが、名鉄バスが当該路線から撤退しないことが明らかということですか？

事務局 もし、名鉄バスが当該路線から撤退した場合は、おいでんバスとして運行を引き継ぎます。そのため、運賃体系もおいでんバス運賃として統一されます。なお、２０１０年まで名鉄バスが撤退しないことが明らかだということではありません。

委員 私たち民間バス事業者としてのサービスレベルで考えると、４月からの九久平線（中垣内～豊田市）の運行本数は過剰なレベルと考えますが、市や地域との協議・調整の上、現状の利用者の利便が著しく低下しないような運行本数の確保に努めた上で九久平線を運行します。今後、おいでんバスとの路線の重複による減収や、純粋なバス離れによる減収などがあるかもしれませんが、路線としての実態を見極めつつ、状況によっては撤退する可能性が無いとは言い切れませんが、可能な限りサービスレベルを低下させること無く維持ができるように努めていきます。

(2) バス運行計画の変更について

(3) バス停留位置の変更について(新盛バス停)

事務局 資料に基づき説明

委員 小原・豊田線について、前回会議の時点から、運行ルートの変更に伴い運賃が変更された区間があるとのことだが、どのあたりでしょうか。

事務局 木瀬口周辺から豊田市方向への利用の場合です。

委員 新盛バス停の変更位置について、バスの停車により視界が妨げられることが無いように、横断歩道から近い場所への変更は避けて欲しい。

事務局 現地を詳細に確認した上で移設位置を精査し、警察と協議をさせていただきながら、安全な位置に設置をします。

委員 藤岡・豊田線は西中山経由と加納経由で、ほとんどルートが異なるが、利用者が間違えないような工夫が必要なのではないでしょうか。乗り場を分けるとか番号で経由地を分類するとか。

事務局 おいでんバスの車体に路線番号を入れて経由地や路線を分類するとともに、車外放送による案内等で利用者が間違えないように工夫します。また、豊田市駅では、西中山経由は東口、加納経由は西口と、乗り場を分けております。

委員 基幹バス(おいでんバス)と地域バス等を乗り継ぎやすいように、時刻表に乗継情報を入れて利便性を高める工夫をして欲しい。

事務局 時刻表やバス停を作成するときに工夫したいと思います。

委員 バス停と横断歩道の位置関係について、安全上問題が無いか、再度チェックをしておいていただきたい。

事務局 今一度チェックします。

委員 バスや鉄道を乗り継ぐ場所の整備も進めていただきたい。

事務局 豊田市公共交通基本計画で、複数の公共交通を乗り継ぐ場所を交通結節点と位置付け、今年度より、上屋や情報案内装置等の整備を、今年度より進めております。

委員 車を運転できない高齢者にはバスが必要不可欠。基幹バスのバス停までの距離が遠い人でもバスが利用できるような手段を確保していただきたい。

事務局 基幹バスの整備と平行し、地域内をきめ細かく運行し、基幹バスへ乗り継ぐ交通結節点へ接続する地域バス等の整備を地域と協力しながら進めております。今後も地域と協力し、交通空白地域の削減を進めてまいります。

【その他】

(1) 次回会議の開催時期について

事務局 本年度に予定していた会議は今回が最終となります。次年度以降も、引き続きよろしくお願いたします。